

福津暮らしの旅

新鮮な野菜や魚を食べる

海辺で夕日を見る

花を眺め季節を感じる

福津での日々の

暮らしの中にある

自然を感じるゆとりある時間

その時間で感じる「こが」ができる

「小さな幸せ」を

「小さな豊かさ」と表現し

その豊かさを大切にしたい

旅が始まりました

旅の始まりから

これからの取り組みについて

お伝えします



農家さんと畦道を一緒に歩く時間。いつもと違う時間が流れます

46人の力で誕生した、 福津暮らしの旅

自然を生かした旅づくり

海と山に囲まれた福津市。私たちの暮らしのそばには豊かな自然が広がっています。

自然という魅力は、福津に暮らす人にとって自慢の一つです。また、福津市へ訪れる人の多くが「自然があるから、福津へ足を運ぶ」と答えるほど、外の人にも認められた魅力でもあります。

この魅力を生かした取り組みとして誕生したのが『福津暮らしの旅』です。

この旅を通して、自然の魅力や、自然を守りながらこれを生かす暮らしの知恵を旅の参加者へ伝えることで、「参加者が福津のファンになり、福津へ何度も訪れるリピーターになること」、「まちに暮らす人が自分の暮らしにより誇りを持つこと」、そして「まちに

小さな経済が生まれ、まちが少し豊かになること」を目指しています。

46人が生み出した、18の旅

平成23年7月、自然を生かした体験・交流事業を一緒に考えてほしいという市の呼び掛けに、農業、漁業、飲食業、宿泊業、教育関係者など、多彩な分野から、福津暮らしを楽しむ28人が旅づくりの仲間として集い、取り組みが始まりました。

一年半にわたり、話し合いを何度も重ね、旅の資源の掘り起こし、知恵を出し合いながらモデルとして18の旅を企画・実施しました（旅の様子は、特集写真で紹介しています）。

平成24年度には仲間が増え、総勢46人の協体制のもと、取り組みを進めました。

「日常」をもとにした旅の誕生

旅を企画することの難しさと同時に、仲間と共に旅を企画する楽しさや参加者と交流する楽しさなどを味わいながら進めた旅づくり。

その中で、「まちに暮らす人にとって当たり前な日常生活が参加者には新鮮で楽しいこと」、「日々の暮らしから生まれる旅は、無理なく楽しみながら実施でき、自らの暮らしへの誇りも高めることができること」など、旅のヒントが数多く生まれました。

そして、「自然と共に歩む、福津の今と昔の日常暮らしを丁寧伝える旅」という、新しい旅のスタイルを誕生させ、これからの本格実施に向けて仲間とともに、今、準備を進めています。



月1回地域で行う取り組みへ参加をする前、「はじめまして」のあいさつの時間

福津に暮らす「小さな豊かさ」

福津暮らしの旅では、日常の価値を分かりやすく表現するために、日々暮らして感じる事ができる「小さな幸せ」を5つの「小さな豊かさ」として表現し、それを大切にしたい旅づくりを進めています。

- 1、自然と季節に寄り添うこと
- 2、ゆとりある時間を感じる事
- 3、ちよつとひと手間掛けること
- 4、お互い楽しく過ごすこと
- 5、地元の伝統・文化を大切に思うこと



藤田さんが参加した旅 お米をみんなで収穫する時間

旅をとおして

旅の実施をとおして、実施者や参加者に
気持ちの変化を聞いてみました。

自分のまちは多くの
魅力にあふれています

旅の実施者 古賀広宣さん

「このまちに人に誇れるものがある？」古賀さんが持った旅づくりへの第一印象でした。

旅づくりの仲間と会議を重ねる中で、「自分のまちが本当に多くの魅力にあふれていること、そしてこんなにも輝いた人々が近くにいたことに気付いた」と話します。

「人が元気になると、まちが元気になる」と旅づくりをとおして強く感じ、これからも楽しみながら旅づくりを進めていきたいと古賀さんは語ります。

ぜいたくな暮らしをおすすめ分けしたくなりました

旅の参加者 藤田裕美子さん

知人に誘われ、そんなに美味しいお米なら食べてみたいという好奇心から「花田智昭さんの美味しいお米と奴山の暮らし」へ参加した藤田さん。

農家の花田さんの話や、お米の収穫体験後に釜炊きの炊き立てご飯を味わい、「豊かな環境に恵まれている福津だからこそ体感することが出来る素敵なための暮らし。このぜいたくな暮らしを多くの人におすすめ分けしたくなった」と話します。



▲みんなでカゼ(つ)みそをつくる時間

▲小さなゆとり、縫う時間

▲伝統工芸 津屋崎人形をつくる時間

▲海を散策する時間

▲旬な食材を調達に行く時間

農家さんや漁師さんと触れ合う旅、歴史あるまちなみを
楽しむ旅、海の魅力を満喫する旅など、今回は19つの
旅を準備しています。ここでは、3つの旅を紹介します。

港町に暮らす旅



津屋崎に移住し「継ぐこと」を
テーマに仕事をする都郷なびさ
さん。この旅は、都郷さんのガイドの
元、地元のもてなしを受け、参加
者も地元のかたをもてなす3日間
の旅。贈り合う暮らしから見えてく
るものを、暮らしに浸り、参加者同
士の対話を通して見つめます。

【9月下旬開催予定】

朝市から始まる日曜日

—津屋崎漁港朝市と海ごはん—



毎週日曜の早朝、多くの人で
賑わう津屋崎漁港の朝市。この
旅は、地元の人と一緒に朝市
と、新鮮な魚を使った朝ごはん
づくりを楽しむ旅。朝市を楽しむ
コツ、魚をさばくコツ、魚を使っ
た味噌汁を作るコツなど、沢山
のコツを知ることができます。

【10月開催予定】

司じいちゃんと 冬野菜づくり



田園の奥に海が広がる景色
を一望できる、在自。この旅は、
在自で60年間農業を営む上妻
司さんと一緒に親子で土と触れ
合う旅。育てる野菜はブロッコ
リー。野菜栽培の時間だけでなく、旬の野菜で料理をしたり、もち
つきを楽しむ時間もあります。

【11～2月開催予定】

旅のこれから

「福津暮らしの旅運営協議会」が中心となって、
より多彩で充実した旅へ

今年度は19の旅を行います

今年度も9月から12月の秋
頃に旅を行います。

運営協議会が中心となって、
4月に企画づくりを開始し、現
在、実施者や協力者などの旅づ
くりの仲間と共に、準備を進め
ています。平成24年度の12個の
旅から内容がさらに充実し、19
の旅となる予定です。

8月には旅の詳しいお知らせ
をする予定です。市役所や市行
政・観光情報ステーション「ふっ
くる」をはじめとして、市内外各
所で配布するリーフレットや、
市公式ホームページなどをご覧
ください。

四季折々の魅力を伝える旅へ

福津暮らしの旅は、将来的に
は四季折々の魅力を伝えるため

に、年間を通じた旅の実施を目
指しています。

その準備として、今年度から
秋以外での実施の試みも始めま
した。5月に開催した「海の宝
物に寄り添う暮らしーテングサ
採りから、とろろてんぷりま
でー」を皮切りに、取り組みを
進めています。

今後、伝統の祭り・津屋崎祇
園山笠を体感する旅や、世界に
ひとつだけの水族館をつくる旅
を企画・実施します。

詳しくは、広報ふくつ7月1
日号22ページをご覧ください。

旅づくりの輪を広げる

福津暮らしの旅を発展させ
るため、旅づくりの仲間の輪を
少しずつ広げていく取り組みも
始めています。

旅がどのようにして生まれた

のか、旅のもととなる暮らしや
人々の思いを「たね」に例え、「福
津暮らしの旅 たね本」として
まとめました。

今後、旅に興
味・関心のある
かたへ、たね本
をお渡しして
いきます。



福津が好きな誰もが、旅の実
施者にも、そして参加者にもな
ることができる、福津暮らしの
旅。これからは多くの人に旅と
触れ合っていただき、共に創り上
げる旅にしていきます。皆さんの
参加をお待ちしております。

【問い合わせ】

福津暮らしの旅運営協議会
(市商工観光課内)

☎52・4951

〈交流する場 フェイスブック〉



福津暮らしの旅 検索

平成24年6月に、旅づくりの様子をリアルタイムでお知らせするために、フェイスブックページを開設しました。旅の事務局を中心に、実施者・参加者なども情報発信し、ページ上を交流する場の1つとしています。

旅の企画・実施の様子をはじめとして、旅の「たね」となる福津の日常や、旅を広げる取り組みなどについても、お知らせしています。